

2020年3月期 中間決算について

2019年 11月13日
JFE鋼板株式会社

2019年9月中間期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(百万円未満切捨て)
(%表示は対前年同期増減率)

連結経営成績	売上高		経常利益	特別損益	当期純利益
	百万円	%	百万円	百万円	百万円
2019年9月中間期	32,413	3.5	382	△ 48	165
2018年9月中間期	31,321	5.0	△ 52	△ 8	△ 57

注 連結子会社数 2019年9月中間期 5社、2018年9月中間期 5社
持分法適用関連会社数 2019年9月中間期 1社、2018年9月中間期 1社

(百万円未満切捨て)
(%表示は対前年同期増減率)

(参考)個別経営成績

(参考)個別経営成績	売上高		経常利益	特別損益	当期純利益
	百万円	%	百万円	百万円	百万円
2019年9月中間期	26,837	△ 2.6	71	△ 47	19
2018年9月中間期	27,545	5.8	△ 68	△ 8	△ 48

【当中間期の概況と損益】

当社グループの当中間期の売上高は、輸入材の増加や工事の遅れによる鋼板商品の販売減があったものの、子会社であるJFE機材フォーミングの次世代仮設足場「ファステック」等、下工程部門の販売増加により、32,413百万円(前年同期比+1,092百万円、+3.5%)と増収となりました。

損益面につきましては、原材料価格や物流費等の上昇、販売減による収益の悪化を販売価格の適正化、安定操業によるコストダウン、管理費の削減や下工程部門の増益で補い、経常利益は382百万円(前年同期比+435百万円)、当期純利益は165百万円(前年同期比+223百万円)と増益、黒字化を達成いたしました。

【当期の見通し】

原材料価格や物流費の上昇等、当社を取巻く経営環境は引き続き厳しい状況が続くと予想されます。こうした環境下で対処すべき課題として以下の施策を展開し、安定した収益基盤を構築します。

1) 製造安定化・コストダウンの実施

操業・設備のさらなる安定化により一層の生産性向上を図り、需要に応じてまいります。また、徹底した製造コスト・管理費の削減を引き続き行ってまいります。

2) 販売価格の適正化

原材料価格の上昇に対応した販売価格の適正化をお客様にご理解をいただきながら行ってまいります。

3) 構造改革の実施

ライン運用の最適化、デリバリーの改善策を実施し、収益の最大化を図ります。

以上